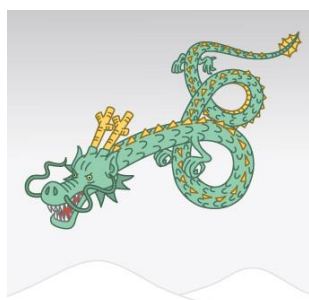




〒530-0043 大阪市北区天満1丁目6番8号 六甲天満ビル801  
管理職ユニオン・関西 TEL(06)6881-0781 FAX(06)6881-0782

## 新年のあいさつ

執行委員長 仲村 実



新年あけましておめでとうございます。

新年早々1月1日の夕方、地震で自宅が揺れました。少し長い時間だった。テレビを付けたら能登半島地震が発生し、津波による避難警報が出ておりアナウンサーが住民に逃げるよう訴えていました。羽咋市にいる友人に電話をしました。北側の志賀町にある北陸電力の志賀原発反対運動で何度か行ったところでした。地震と原発、東電の福島原発の爆発事故で甚大な影響があり、今日なお根本的に何も解決していません。被害者のことを想いつつ、原発稼働停止・廃炉、原発をなくすことが必要だと再確認した次第です。

死者が200人を超えています。避難所生活を強いられている方も多くいます。いまだ終わらない東日本大震災同様、生活再建や長期の復旧・復興が予想されます。政府や自治体など行政機関が全力を尽くすことを要求しましょう。

私的なことですが、コロナ感染にかかり昨年12月10日から一週間寝込み、組合活動も停止しました。団交の中止と延期、組合員との打ち合わせも同様で、裁判傍聴もできなくなりました。18日からは陰性確認の上、遅出・早帰りの慣らし調整で活動再開、12月の最後の週から体調も戻りました。ワクチン接種をしていない私としては、コロナ感染症の免疫ができたとの持論を展開しています。我が人生初の一週間の寝込みはさすがに堪え、5kgもやせました。1月5日から通常の活動に戻っています。組合員の皆さんにご迷惑をかけました。

さてわが組合の昨年11月の定期大会活動方針の冒頭に、「雇用破壊が進んでいます」とあります。安定した終身雇用・年功序列賃金もすでに崩れており、正社員の降格・減給が常態化しています。非正規労働者の割合は4割に迫ろうとし、中でも最低賃金密着層が

増加しています。職業紹介業者を介在させたスポットワーカー、ウーバー  
イーツやアマゾンの配達員などのプラットフォームワーカーという  
雇用が急増しています。

また雇用形態の変容に対応して、労働法制も変わってきました。  
1985年の労働者派遣法の制定は、労働者派遣の合法  
化が始まりました。現在では、有期雇用やスポット・プラットホー  
ムワーク、フリーランスといわれる働き方は実質的に解雇が自由です。それと解雇の  
金銭解決制度の導入が長期にわたって画策されています。労働時間規制も変形労働時  
間制の導入、裁量労働時間制の導入がされてきました。現在は兼業・副業の推進は、  
労働時間規制があっても無きものといえます。



残業時間についても長時間の規制は行われていますが、低賃金ゆえの長時間残業の  
実態があるトラックなどの運転手の上限規制が4月から施行されます。企業や業界は、  
運転手不足を訴えています。運転手の収入減が問題なのです。歩合から固定給の増  
大による賃上げこそ必要なのです。運輸労働者はストライキ闘争こそ必要なのです。

23春闘で政府や経済団体主導で賃上げが行われました。しかし中小零細企業に働  
く労働者や非正規雇用労働者には、ほとんど反映となっていません。物価上昇は、実  
質賃金を低下し続けており、雇用破壊の進展にともない格差はさらに拡大し、労働者  
の生活破壊が進んでいます。

現在、資本主義体制が今まで通りにやっていけなくなっています。しかし政府と資  
本家は、福島原発の爆発・放射能まき散らしを体験しながらも原子力発電の再稼働・  
汚染水の海への放水、沖縄の民意を完全無視する辺野古米軍基地建設強行、防衛費の  
大増加の戦争体制、安倍の「モリ・カケ・さくら」問題のあいまい化、健康保険証廃止と  
マイナンバーカード化、自民党と統一教会の癒着、自民党安倍・二階派による政治資金  
規正法違反と相次ぐ閣僚と自民党役員の辞任、裏金資金（キックバック）の不記載への検  
察の議員逮捕と悪政と腐敗政治が露呈しています。

議会では、大阪発の維新勢力が幅を利かし、住民無視の大阪万博とカジノ建設に躍起と  
なっています。

自公政権や維新などでは労働者や生活に困窮する人々が最優先される政策はありません。  
岸田内閣も同じで、安倍政治の継承です。

こうした中、労働者を組織する労働組合が組織拡大の方向を示し、ストライキ闘争  
を訴える必要性が高まっています。去年の全米自動車労働組合が協約改定で長期のス  
トライキで闘い、業界の大幅賃上げ等の成果を勝ちとりました。欧米を含め世界的に  
は労働運動は活発化しつつあります。

残念ながら日本においては、労働運動全体の社会的影響力が低下のままです。連合  
の自民党へのすり寄り、賃上げについて連合芳野会長は「政府、企業、組合も同じ方  
向を向いている」と発言している。待っていれば賃上げが行われるかのようです。し  
かし現実には物価高ですぐ回収されるし、労働者からの信頼はなくなっています。去年は西武百貨店の1日ストライキがありました。企業買収や部分的営業譲渡、破産・倒産などからのストライキ闘争も出だしています。



私は、産業や業界に規定力を持ち、賃上げ分の原資配分権も要  
求する労働運動、私はその意味で「関生型運動」の全国化と他産  
業・業種・職種への拡大を目標に掲げ活動してきました。何故かど  
うと、独占企業・大企業の暴利を中小企業に確保させるため「一

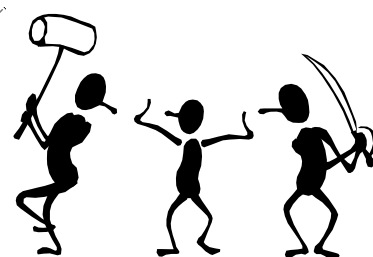
面闘争・一面共闘」戦略、そして企業を超えた労働者の賃上げと労働条件向上を求める産別、業種・職種別組織化だったからです。今も変わらず、日本の労働運動の展望を、関生型運動の再生・再建として力を注いでいきます。

管理職ユニオン・関西は個人加盟の組織ですが、私は上記の志を貫き、引き続き組合員の皆さんが職場で発言力を持ち仲間を増やすこと、友人・知人、未組織の労働者に労働組合のすばらしさを伝え組織すること、組合員一人一人に、他の労働者のために活動することを強く呼びかけます。

今年は、組合事務所に組合員の顔を多彩に見ることとなり、団体交渉に、抗議行動に、様々な行事に参加が増える年にするためにがんばります。そのために執行委員が先頭に立つ自覚と行動をきちんと行うかチェックします。組合員の皆さんの組合活動への一層の参加、ご協力をお願いする次第です。  
(2024年1月12日)

## 解決報告

**組合員森井壽廣さんのパワハラ解雇争議、スクールTomasとの紛争が和解により円満に解決しました。**



解決に至る詳しい経過、和解文書は、組合員及び支援いただいた労働組合・労働者には、すべてを明らかにできますので組合事務所まで連絡ください。

## A・Mさん、フランス語教室閉鎖に伴い退職で合意

A・Mさんと株式会社リンクアカデミーとの紛争は、マネージャーからフランス語講師への降格・減給で始まりました。2020年7月の団体交渉申入れに始まり、講師業務を続けながらの闘いとなりました。2023年9月28日、大阪地裁での判決が出ました。西日本地区のマネージャーとしての地位は認められなかったが、当時の賃金額は認められ、減額時点からの賃金差額を支払えというものでした。その後の大阪高裁での控訴審で争う中、年末12月28日に双方の弁護士を通して話し合いが進み、「合意書」が交わされ退職をすることになりました。合意書の概略は以下の通り。

- 1 労働者(A・M)と会社(リンクアカデミー)とは、令和5年12月31日をもって退職することについて合意する。会社は、労働者が、労働者の所属していた会社のフランス語事業部門が閉鎖したことに鑑み、企業整備による人員整理等で希望退職者の募集に応じて離職した者等」として、失業保険を申請することに同意する。
- 2 会社は、労働者に対し、前項の退職に伴う解決金として金×××万円を支払う。
- 3 会社は、労働者に対し、上記の金員を、令和6年1月15日限り、労働者の指定する口座に支払う。
- 4 労働者は、地位確認等請求事件(以下「本件訴訟」という。)の訴えを速やかに取り下げ、会社はこれに同意する。
- 5 労働者と会社は、労働者と会社との間に、本合意書に定めるほか、互いに何らの債権債務の無いことを相互に確認する。

2023年(令和5年)12月28日

# 新加入の仲間



M・M さん 社会福祉法人同仁会耳原総合病院

Mさんは、堺市にある耳原総合病院において薬剤科長として働いてきましたが、些細なミスや報告漏れ等を理由に降格する旨を告げられました。松本さんは、これに納得できず、昨年12月に組合に加入。昨年暮れから団体交渉を開始しました。組合としては、適切な指導や教育、フォローもないまま、いきなり降格するというのは不適切だと考えています。また、ハラスメントを行った医師が口頭注意だけで済まされていることと比較して、公平性にも欠けると考えています。1月31日に第2回団体交渉を予定しています。応援よろしく申し上げます。

K・M さん 浪速熔材株式会社



Kさんは、昨年8月から浪速熔材という会社で営業社員として働き始めました。上司のハラスメントにより9月に退職に追い込まれたとのこと。制服の上からですが、タバコの火をあてられたこともあったということです。上司から受けた様々な嫌がらせのことを思い出すと怒りが収まらないとのことで、組合に加入されました。組合としては、まず事実確認を行った上で、ハラスメントが確認されるなら、謝罪や適切な補償等を求めていく予定です。1月25日に第1回団体交渉を予定しています。是非応援よろしく申し上げます。

## 2月のレクレーション 「神戸灘五郷酒蔵巡り」

— 菊正宗・浜福鶴・神戸酒心館 等々 —

この企画は、組合員同士の交流や健康な身体づくり等を目的としています。お気軽に参加してください。ゼネラル支部の組合員にも呼びかけます。

【日 時】 2024年2月11日(日) 11時集合

(小雨決行)

【集合場所】 阪神電車・魚崎駅 改札口

【参加申込み】 組合事務所のホワイトボードに名前を記入か、又は電話連絡にてお願いします。

電話：06-6881-0781 担当：松尾・野口



# コロナ感染でくたばった！ 回復は低山登山で確認！



執行委員長 仲村実

## コロナ感染で一週間寝込んでしまいました！

私は、昨年12月10日の日曜日に発熱し、11日に医者に行き鼻から検査棒を突っ込まれ、コロナ陽性の反応が出ました。体がだるく腹の調子が悪く一週間寝込みました。正直、大変な一週間で75年の人生で初めての事です。連れ合いにも移してしまい、彼女はのどの痛みがひどかったですが、早い回復でした。11日に京都駅で会う約束の東京の友人との一杯飲みも事前に中止の連絡をしました。

食事も取れず寝てばかりで筋肉が落ち5キロ近く痩せました。16日、17日の土日でおかゆを少しずつとれるようになりました。残念ながら、大好きなビールや日本酒は飲む元気がありませんでした。

しんどい中でも、布団の中から携帯電話で2つの団交や打ち合わせの延期連絡、裁判傍聴や引き受けている理事会の欠席なども何とか連絡出来ました。

12月18日の朝に陰性確認をして、事務所へは遅出・早帰りの体調チェックの一週間としました。寝こみ中の団交延期や組合員との打ち合わせ日程調整をなどでの調整期間で、12月25日からはほぼもとに戻った通常状態になりました。

まずは心配してもらった皆さんにワクチン拒否の私としては、コロナにかかったので免疫ができたと話しています。大変ご迷惑をかけました。

## 低山登山で体力回復チェック、OKです！

年末休みの12月29日、一人で自宅から東福寺→稻荷山三角点→鳥居の巡回コースの途中→泉涌寺→自宅を歩きました。鳥居の巡回コースに出るまで誰にも出会わず、鳥の声がよく聞こえ病み上がりの快適なローペースの散歩でした。翌30日は、午後から連れ合いと東山区今熊野の京都トレイルコースから將軍塚（222m）から清水寺を抜けて、だいぶ前に亡くなった育てのおふくろが眠る大谷廟へ寄って東山通りから自宅へ戻る軽い山登りもこなして体調は大丈夫のようです。

年が明けて1月3日、例年なら愛宕山（924m）登山ですが7合目くらいからは雪・凍結のアイゼン付きなので先送りしました。連れ合いと日常の稻荷山散歩コースで、三角点から、一旦、山科の大石神社に下り引き返すピストン歩きで距離を稼ぎました。菜食中心の我が家の食事もうまい、アルコールも含めた完全回復です。

7日の日曜日は、少し高い大文字山（466m）に連れ合いに引っ張られて登りました。私のローペースの山行タイムを記しておきます。9時5分自宅出発、9時20分京阪三条駅、徒歩で南禅寺着9時50分、登山開始からNo42ポイント10時40分、大文字山山頂11時15分、11時25分出発、メインコースを外れて幻の滝（湧水が出ているところ）では女性がコーヒー用としてペットボトルにためていた。中尾の滝（大文字の日床のあるメインコースではない）12時、分岐12時10分、12時25分まで昼食、銀閣寺12時40分、徒歩で出町柳駅12時40分、自宅着13時43分でした。連れ合いさんが一人でこのコースを歩くと、山歩き部分は25分くらい短いのです。ちなみに、この日の歩数は、18,189歩でした。



## 映画を観よう！ 「七つの会議」



日時：1月19日（金）午後7時から2時間程度

場所：組合事務所にて

### 〈解説・あらすじ〉

『七つの会議』は、池井戸潤による日本の小説を原作とした映画で、中堅電機メーカーで起こった不祥事に巻き込まれていく社員たちを描く群像劇です。監督は福澤克雄で、彼は「半沢直樹」「下町ロケット」など、一連の池井戸ドラマの演出を手がけています。

映画の舞台は中堅電機メーカーの東京建電。ここでは営業部長の北川（香川照之）が君臨しています。営業部にはエースの坂戸（片岡愛之助）率いる営業一課と二番手の原島（及川光博）が率いる営業二課があって、一課は常にノルマに到達している一方で、二課は常にノルマ未達で北川の叱責を浴び続けています。主演の野村萬斎は、自身初のサラリーマン役となる八角民夫を演じています。そして、池井戸ドラマ常連俳優の香川照之、及川光博、片岡愛之助、音尾琢真、立川談春、北大路欣也がこの映画でも顔をそろえ登場しています。

『七つの会議』は、現代社会の企業風土とその中で働く人々の葛藤を描いた作品であり、その社会的な視点は意外と深いものがあります。日本の企業文化が色濃く描写されており、営業目標を達成するためには手段を選ばない“鬼”と恐れられる営業部長の北川と、その下で働く社員たちの日常。それは、現代の企業における過度な競争とプレッシャー、そしてそれが従業員の心理と行動に与える影響を描いています。また主演の営業一課で“万年係長”の八角民夫は、企業の中で働く一人の労働者として、観客の共感を呼ぶ存在です。彼のキャラクターは、組織の中で自分の役割を果たしながらも、組織の目標と自分の価値観との間でのバランスを取ろうとしています。

『七つの会議』は、企業の矛盾や働く人々の前に訪れる様々な問題と人間関係をエンターテインメントとミステリーを織り交ぜながら描き、視聴者を引きつける緻密なストーリー展開と徐々に明らかになっていく黒幕など、一流の役者による素晴らしい演技が見どころです。

視聴者にとって、この作品は、自身の働く環境を見つめ直すきっかけになり、またビックモーター、ダイハツなどで起きた企業不祥事の裏側など、現代社会の問題に対する洞察を提供してくれます。この映画は、サラリーマンだけでなく、幅広い視聴者におすすめできる映画です。

製作2019年、日本、119分、監督 福澤克雄、原作 池井戸潤、配給：東宝

QRコードを読み取って頂きますと、この映画の予告編をご覧になれます。➡



### 組合活動に参加を！ 協力していただける方を募集しています。

- ① 機関誌編集者：集まった記事に、見出しを付けカットを挿入し編集する。
- ② 機関誌連載記事担当者：時事問題、エッセイ、川柳などを書いてもらう。
- ③ レクレーション担当者：ハイキングの計画、呼びかけ、案内をしてもらう。